

## 必修講習会 第一～四期末修了者のための読替表

※各期で未受講になっているコマについては、対応する第五期・六期の枠とコマに当てはまる科目を受講してください。

グレイ：第一～四期と第五・六期で受講の順番が変わります

黄色：未受講の部分は追加受講必須

色がついていないコマは第一～六期まで受講順に変化はありません

種別	一期・二期				三期・四期				五期・六期				読替時注意事項
	枠	コマ	タイトル	五期該当 枠・コマ	枠	コマ	タイトル	五期該当 枠・コマ	枠	コマ	タイトル		
MT概論	①	1	MTの実践		①	1	イントロダクション	①-1	①	1	イントロダクション		
		2	MTの理論とアプローチ			2	MTの実際	①-2		2	MTの実際		
		3	発達障がい児・者のMT1			3	音と聴覚・音と脳	①-3		3	音と聴覚・音と脳		
		4	発達障がい児・者のMT2			4	人間と音楽	①-4		4	人間と音楽		
	②	5	音楽の起源と近代までのMTの歴史		②	5	MTの歴史	③-5	③	5	MTの歴史		
		6	MTの歴史 続き			6	MTの対象者	③-6		6	MTの対象者		
		7	高齢者1			7	MTの実践	③-7		7	MTの実践		
		8	高齢者2・緩和ケア			8	障がい児・者	③-8		8	障がい児・者		
	④ ⑤	9	音と聴覚・音と脳		④	(10) 9	高齢者・その他	④-9	④	9	高齢者・その他		
		10	人間と音楽			(11) 10	MTと社会システム	④-10		10	MTと社会システム		
		11	精神科領域1			(9) 11	MTの理論とアプローチ	④-11		11	MTの理論とアプローチ1		
		12	精神科領域2			12	倫理・スーパービジョン	④-12		12	MTの理論とアプローチ2		
	※1期・2期列内の ( ) は2期末修了者のコマ番号。				※3期・4期列内の ( ) は3期末修了者のコマ番号。				④				
※総括及びテストは必須です。 一・二期でMT概論受講希望の方は個別に、 <b>2021年8月31日(火)までに事務局</b> にお問い合わせください。				13 総括 追加受講 ※総括の受講及びテストを受ける必要があります。				④-14 ④					
MT各論	発達障がい児・者				障がい児・者				障がい児・者				各論については未受講になっている講義を第五・六期でそのまま受講してください。
	③	1	発達障がい児・者のMTの目的1	⑧-1	③	1	障がい児・者のMTの目的1	⑧-1	⑧	1	障がい児・者のMTの目的1		
		2	発達障がい児・者のMTの目的2	⑧-2		2	障がい児・者のMTの目的2	⑧-2		2	障がい児・者のMTの目的2		
		3	発達障がい児・者のMTの理論・アプローチ	⑧-3		3	障がい児・者のMTの実際	⑧-3		3	障がい児・者のMTの実際		
		4	感覚機能系障がい児・者のMT	⑮-4		4	感覚機能系障がい児・者のMT	⑮-4		4	感覚機能系障がい児・者のMT		
	⑧	5	運動機能系障がい児・者のMT	⑮-5	⑤ (⑧)	5	運動機能系障がい児・者のMT	⑮-5	⑮	5	運動機能系障がい児・者のMT		
	高齢者				高齢者				高齢者				
	⑥	1	対象者理解と高齢者MTの実際1	⑬-1	⑦ (⑥)	1	対象者理解と高齢者MTの実際1	⑬-1	⑬	1	対象者理解と高齢者MTの実際1		
		2	高齢者MTの流れと実際2	⑬-2		2	高齢者MTの実際2	⑬-2		2	高齢者MTの実際2		
		3	高齢者MTの実際3(歌唱中心)	⑬-3		3	高齢者MTの実際3	⑬-3		3	高齢者MTの実際3		
		4	高齢者MTの実際4(身体運動・楽器活動中心)	⑰-4		4	高齢者MTの実際4	⑰-4		4	高齢者MTの実際4		
		⑨	5	高齢者MTの実際5およびまとめ		⑰-5	⑨	5		高齢者MTの実際5およびまとめ	⑰-5	⑰	5
	リハビリテーション				リハビリテーション				リハビリテーション				
	⑩	1	リハビリテーションとMT1	⑬-1	⑩	1	リハビリテーションとMT1	⑬-1	⑬	1	リハビリテーションとMT1		
		2	リハビリテーションとMT2	⑬-2		2	リハビリテーションとMT2	⑬-2		2	リハビリテーションとMT2		
	精神科領域				精神科領域				精神科領域				
	⑱	1	精神科の対象と治療	⑳-1	⑱ (⑱)	1	精神障がいの理解	⑳-1	⑳	1	精神障がいの理解		
		2	精神科のMTの目的・構造・方法	⑳-2		2	精神科のMTの目的・構造・方法	⑳-2		2	精神科のMTの目的・構造・方法		
		3	各疾患とMTの適応	⑳-3		3	精神科領域のMTの実際1	⑳-3		3	精神科領域のMTの実際1		
		4	精神科のMTの実際と評価	⑳-4		4	精神科領域のMTの実際2	⑳-4		4	精神科領域のMTの実際2		
⑳		5	まとめ	⑳-5		5	精神科領域のMTの実際3	⑳-5		⑳	5	精神科領域のMTの実際3	
ホスピス緩和ケア				緩和ケア・その他				緩和ケア・その他					
⑳	1	日本における歴史と現状	㉘-1	⑳ (㉘)	1	緩和ケア・その他のMT1	㉘-1	㉘	1	緩和ケア・その他のMT1			
	2	チームケアとMTの専門性	㉘-2		2	緩和ケア・その他のMT2	㉘-2		2	緩和ケア・その他のMT2			
	3	ロールプレイ、現場の現状、課題とまとめ	㉘-3		3	緩和ケア・その他のMT3	㉘-3		3	緩和ケア・その他のMT3			

種別	一期・二期				三期・四期				五期・六期				読替時注意事項	
	枠	コマ	タイトル	五期該当 枠・コマ	枠	コマ	タイトル	五期該当 枠・コマ	枠	コマ	タイトル			
MT研究→3期より「事例の書き方・研究」	(5)	1	研究とは何か	⑥-1	(6)	1	事例とは	⑥-1	(6)	1	研究とは	レポート1と2を提出し、各々講師から指導を受け、まとめ1と2とテストを受けることが必須。		
		2	量的研究と質的研究	⑥-2		2	観察と記録1	⑥-3		2	事例報告とは			
		3	MTの研究論文を読む1	⑩-5		3	観察と記録2	⑥-4		3	観察と記録1			
		4	MTの研究論文を読む2	⑩-6		4	MTの事例研究論文	⑥-2		4	観察と記録2			
	(11)	5	観察と質的データ	⑪-3	(11)	5	事例の書き方の例1	⑩-5	(20)	5	事例の書き方の例1			
		6	量的データ	⑪-4		6	事例の書き方の例2	⑩-6		6	事例の書き方の例2			
		7	一事例研究と結果の表し方	⑫-11		7	MTの研究1	⑩-7		7	MTの研究1			
		8	事例研究におけるデータ検討	⑩-7		8	MTの研究2	⑩-8		8	MTの研究2			
	(14)	9	データの性質	⑩-8	(14)	9	事例研究のデータと統計1	⑩-9	(25)	9	事例研究のデータと統計1			
		10	記述統計	⑫-9		10	事例研究のデータと統計2	⑩-10		10	事例研究のデータと統計2			
		11	ノンパラメトリック検定	⑫-10		11	MTの論文	⑫-11		11	MTの論文			
		12	パラメトリック検定	⑫-10		12	事例の書き方1 ※三・四期で事例の書き方1を受講済みの方は、五期にて事例の書き方2を受講せずに事例の書き方3・4に進めます。	⑫-12		12	事例の書き方1			
	(16)	13	事例研究の書き方	⑫-12	(20)	13	事例の書き方2	⑫-13	(35)	13	事例の書き方2			
		14	抄録の記入	⑫-13		14	事例の書き方3	⑫-14		14	事例の書き方3			
		15	抄録のチェック	⑬-14		15	まとめ1	⑬-15		15	事例の書き方4			
		16	抄録の再修正	⑬-15		16	まとめ2およびテスト	⑬-16		16	まとめ1			
	(17)	17	まとめ2およびテスト追加受講	⑬-16,17	(17)	17	事例の書き方4 追加受講	⑬-17	(17)	17	まとめ2およびテスト			
MT技法A (非音楽系)	(7)	1	イントロダクション	②-1	(8)	1	イントロダクション	②-1	(2)	1	イントロダクション	*合奏2は新設講義ですが、第一～四期にて「手遊び歌」が受講済みなら新たな受講は不要。		
		2	伴奏1	⑦-3		2	伴奏1	⑦-3		2	楽器紹介			
		3	伴奏2	⑦-4		3	伴奏2	⑦-4		3	伴奏1			
		4	楽器紹介	⑤-2		4	楽器紹介	⑤-2		4	伴奏2			
		5	即興1/テスト	⑩-17		5	即興1/テスト	⑩-17		5	諸技術			
	(12)	6	諸技術	⑨-5	(12)	6	諸技術	⑨-5	(14)	6	音の使い方1			
		7	伴奏3：#bなしの曲	⑭-8		7	伴奏3	⑭-8		7	音の使い方2			
		8	伴奏4：#bなしの曲	⑭-9		8	伴奏4	⑭-9		8	伴奏3			
		9	携帯楽器伴奏	⑫-12		9	携帯楽器伴奏	⑫-12		9	伴奏4			
		10	合奏・テスト	⑭-10		10	合奏	⑭-10		10	合奏1			
	(15)	11	手遊び歌	⑭-11	(15)	11	手遊び歌	⑭-11	(18)	11	合奏2*			
		12	伴奏5	⑫-13		12	伴奏5	⑫-13		12	携帯伴奏楽器			
		13	伴奏6	⑫-14		13	伴奏6	⑫-14		13	伴奏5			
		14	音の使い方1	⑫-6		14	音の使い方1	⑫-6		14	伴奏6			
		15	音の使い方2/テスト	⑫-7		15	音の使い方2	⑫-7		15	伴奏7			
	(17)	16	伴奏7	⑫-15	(21)	16	伴奏7	⑫-15	(29)	16	伴奏8			
		17	伴奏8	⑫-16		17	伴奏8	⑫-16		17	即興1			
		18	即興2	⑫-18		18	即興2	⑫-18		18	即興2			
		19	その他の技法	⑫-19		19	その他の技法	⑫-19		19	実技試験			
		20	まとめ/テスト	⑫-20		20	まとめ/テスト	⑫-20		20	まとめ/筆記試験			
MT技法B (非音楽系)	(13)	1	導入、オリエンテーション		(13)	1	オリエンテーション、身体を用いたワーク1		(16)	1	身体ワーク、他者関係	2コマ削減。 技法Bを全く受けていない場合は10コマでよいが、既に一部受講済みであれば合計で12コマ必要。		
		2	非言語的交流の体験と理解1			2	身体を用いたワーク2			2	表現、(グループワーク)			
		3	非言語的交流の体験と理解2	⑩-1		3	言葉を用いたワーク1	⑩-1		3	身体ワーク			
		4	非言語的交流の体験と理解3	⑩-2		4	言葉を用いたワーク2	⑩-2		4	他者関係			
	(18)	5	身体表現	⑫-3	(17)	5	声と他者との関係性と自己への気づき	⑫-3	(24)	5	表現		既に受講した際と同じ講師になる可能性があります。	
		6	声と身体の方向性1	⑫-4		6	身体を通した気づき	⑫-4		6	グループワーク			
		7	声と身体の方向性2	⑫-5		7	声の方向性	⑫-5		7	身体ワーク			
		8	声と身体の方向性3	⑫-6		8	息を合わせること	⑫-6		8	他者関係			
	(22)	9	事例と討議	⑬-7	(23)	9	身体のワーク	⑬-7	(37)	9	表現			第五・六期の技法Bの内容は、タイトルが同じでも内容は講師によって異なります。
		10	自己洞察と言語による表現1	⑬-8		10	声のワーク	⑬-8		10	グループワーク			
		11	事項洞察と言語による表現2	⑬-9		11	声の生理学	⑬-9		11	グループワーク			
		12	まとめ	⑬-10		12	グループワーク	⑬-10		12	グループワーク			
MT演習								(10)	1	MT演習1	演習1～9は第五・六期受講生のみが受講できます。			
								(19)	2	MT演習2				
								(23)	3	MT演習3				
								(31)	4	MT演習4				
									5	MT演習5				
									6	MT演習6				
									7	MT演習7				
									8	MT演習8				
									9	MT演習9				